

デザインの可能性を、経営の世界に

研究内容

これまでデザインが培ってきた考え方やノウハウが、イノベーションとブランディングに貢献できるとして、経営の分野で注目されています。日本が「デザイン経営宣言」としてこの内容を発表したのが2018年、まだ認知されたいばかりのこの分野が当研究室のテーマです。激動する世界で、組織や企業の経営も未知の分野を進んでいます。ここで、デザインドリブンであることを大切に、社会に貢献できる研究に取り組んでいます。

地域・産学連携の可能性

この可能性を示す事例として、これまで私が取り組んできた研究活動のアクションが国内外で評価され、成果がはじまっている事例をご紹介します。

仲間と4人で立ち上げた、人の里親制度の普及啓発支援をする一般社団法人RACのビジネスプランが、「第2回日経ソーシャルビジネスコンテスト」で優秀賞を受賞したほか、RACの日々のブランディング活動が、ブランディングの本場、ニューヨークの伝統ある国際グラフィックデザインアワード「Graphis Design Annual 2021」で銀賞を受賞しています。

これらの受賞は、経営メンバーの中にデザイナーが入り、デザインの観点から経営戦略を一緒になって考えたアクションが国内外で評価されたものですが、RACはたった4人の熱意からスタートした、非営利の小さなスタートアップ組織です。

このテーマに関連するSDGs開発目標



Graphis Design Annual 2021で銀賞を受賞したRACのブランディング活動



ライフデザイン学部 産業デザイン学科 デザインと経営学を組み合わせた分野

下總 良則 SHIMOUSA Yoshinori

准教授、経営学修士（専門職）

<https://www.dezaken.or.jp/> / <https://www.rac-foster.or.jp/>

執筆論文

非営利団体イベントのデザイン戦略改善におけるインサイトの有効性
日本デザイン学会発刊『デザイン学研究』Vol.65, No.4, 2019年



Keyword

デザインと経営学を組み合わせた分野、デザイン経営、サービスデザイン、デザイン思考、経営、マーケティング分野